



かこ たび  
過去を、旅しよう。

にしのみやま ごうふん かつごおりちやう  
西野山3号墳(上郡町)  
しゆつどさんかくふちしんじゆうきやう  
出土三角縁神獣鏡

うねこうこかん  
有年考古館って？

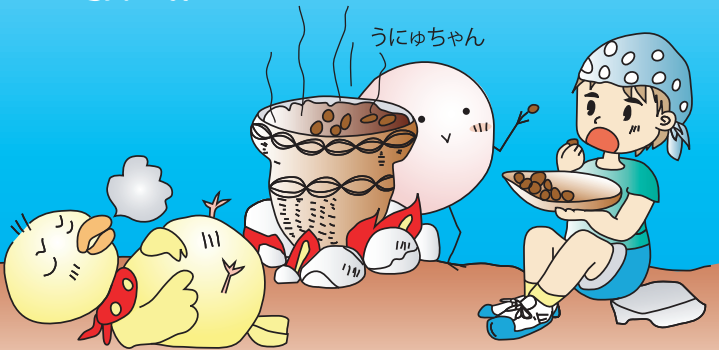
とうかん にほんいちちい こうこかん  
当館は「日本一小さな考古館」とま  
よ ちい ちい はくぶつかん  
で呼ばれた小さな小さな博物館。

あこう にほん れきし し  
でも、赤穂や日本の歴史を知るうえ  
か たいせつ しりよう  
で欠かせない大切な資料がたくさん詰

まっています。

とうかん  
当館では、マスコットキャラクター  
の“うにゅちゃん”が楽しく、わかりやす  
く、その歴史について教えてください。

では、“うにゅちゃん”たちと一緒に、  
かこ たび  
過去を旅してみましょう！！



記念スタンプ



利用案内

開館時間 午前10時～午後4時(入館は午後3時30分まで)  
休館日 毎週火曜日(祝日と重なった場合はその翌日)  
年末年始(12月28日～1月4日)  
※特別展・企画展前には臨時休館する場合があります。

入館無料・無料駐車場あり

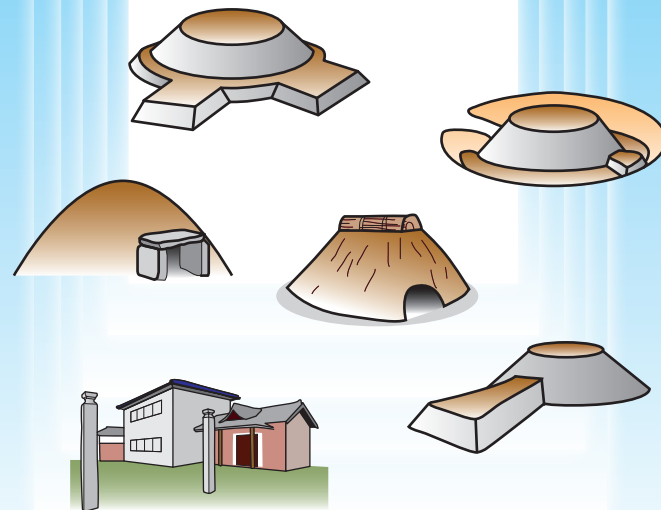
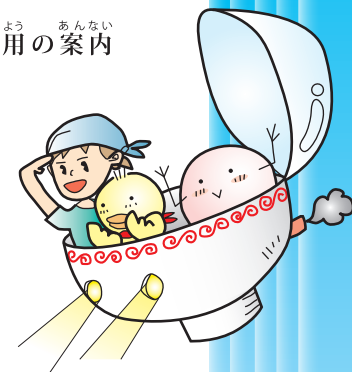


うね  
赤穂市立有年考古館  
(併設 有年民俗資料館)

〒678-1181 兵庫県赤穂市有年権原1164番地1  
TEL・FAX 0791-49-3488  
よく みよーぱぱ  
■ U R L ■ <http://www.geocities.jp/unekoukokan/>  
■ E-mail ■ [unekoukokan@ybb.ne.jp](mailto:unekoukokan@ybb.ne.jp)

かこ たび  
過去を、旅しよう。  
あこう しりつ うねこう こかん  
赤穂市立有年考古館  
(併設 有年民俗資料館)

ご利用の案内

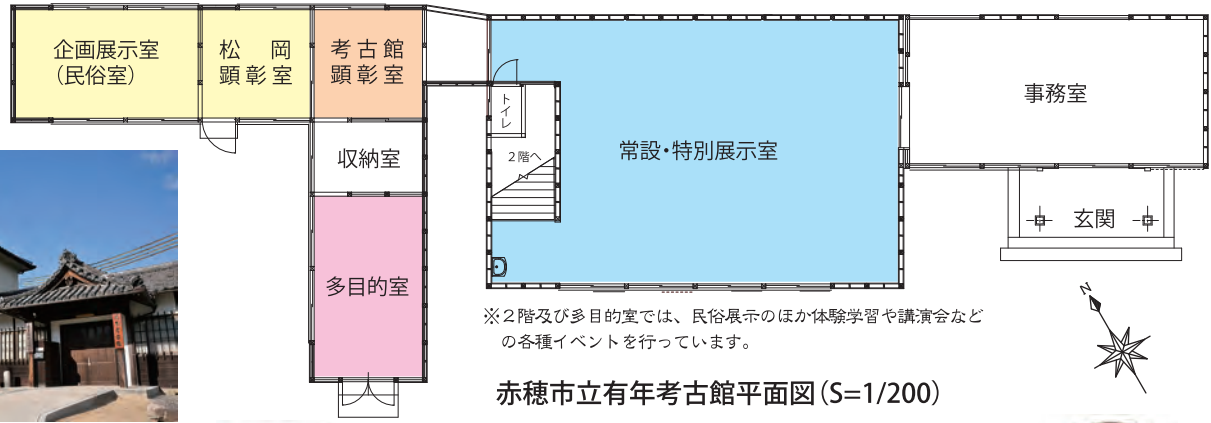


# 有年考古館のご案内

「有年考古館」は、旧有年村の眼科医であった松岡秀夫氏が昭和25年に開館した、私立の考古博物館でした。松岡氏はこの施設を拠点とし、三角縁神獣鏡が出土した西野山3号墳(上郡町)をはじめ旧赤穂郡内(現在の赤穂市、相生市、上郡町)にある遺跡の調査を精力的に進め、この地域の歴史を明らかにされ、多くの功績を残されました。

有年考古館には、旧赤穂郡を中心に、松岡氏が全国各地から収集した考古資料や民俗資料が多く収蔵されています。これらの資料の一部は赤穂市指定文化財となり、播磨の歴史を語るうえで欠かせないものとなっています。

開館60年を経た有年考古館は、残念ながら平成23年2月に閉館しました。寄贈を受けた赤穂市は、郷土資料を収集保存して学術研究に資し、かつ教育に役立てるとする設立当初の趣旨を受け継ぎ、「日本一小さな考古館」と呼ばれた本館を、より多くの方々にとってわかりやすく、親しみやすい施設として、平成23年11月11日にリニューアルオープンいたしました。子供の郷土学習から大人の生涯学習まで、誰もが楽しんで学べる考古館へようこそ。



※2階及び多目的室では、民俗展示のほか体験学習や講演会などの各種イベントを行っています。

赤穂市立有年考古館平面図(S=1/200)

## 赤穂市立有年考古館の施設概要

木造瓦葺き2階建(収蔵庫)	軽量鉄骨造鉄板葺2階建
敷地面積	632.39㎡
建物面積	318.60㎡(考古館) 242.14㎡ 収蔵庫 76.46㎡
その他、トイレ(身障者対応)や駐車場を設置しています。	



## 有年考古館周辺の主な遺跡・史跡と出土遺物